

提案

放射能汚染を無害化する方法

- ・汚染水
- ・汚染土壌

【趣旨】 地球全体は一つの家族、本来国境はない。困難な問題は知恵を出し合い助け合うという趣旨で提案します。

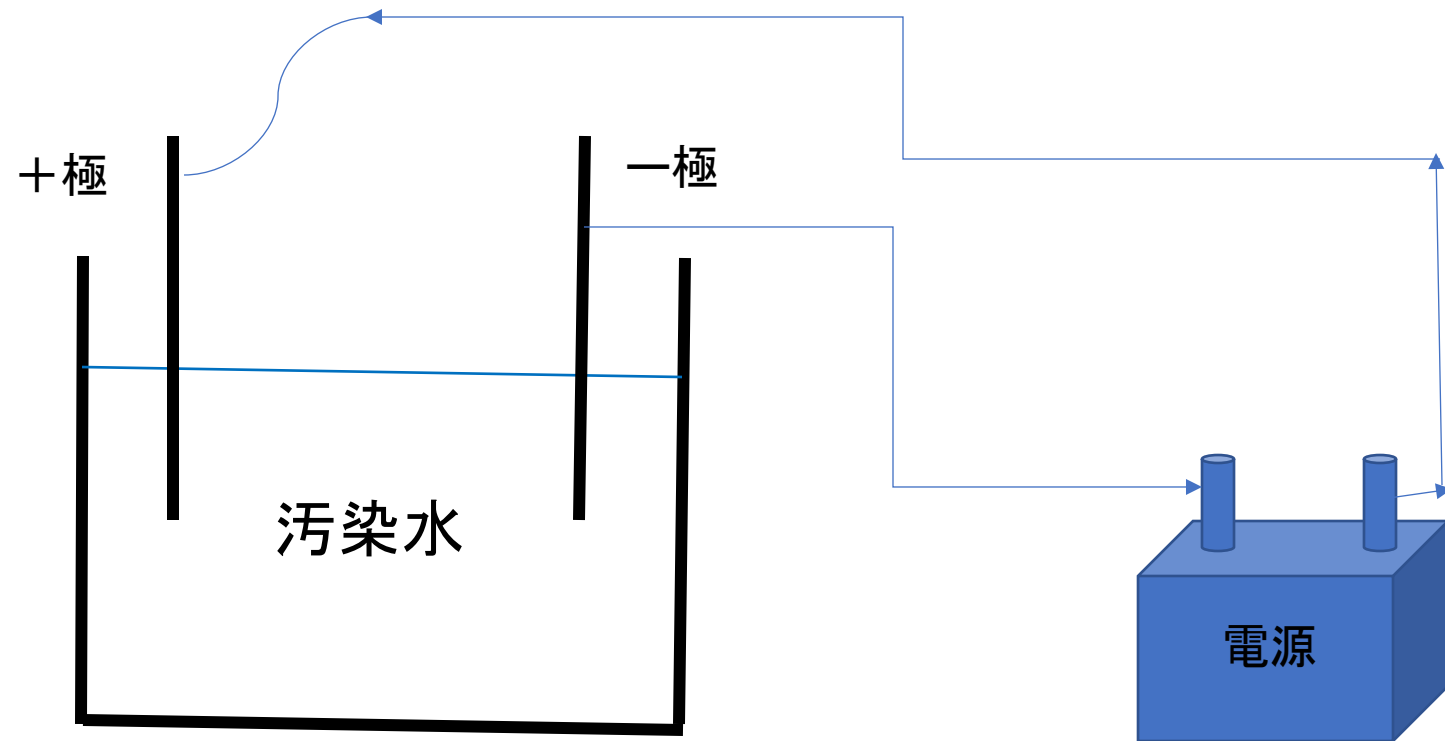
- この方法は知花敏彦先生の発案で、河合勝先生による具体的提案です。
- 今までの常識を超えた、前例がない方法です。
- 前例がない方法は採用できないと、環境省・経済産業省では門前払いでした。
- 放射能汚染の問題は前例がないので、新しい方法にもぜひチャレンジしていただきたいです。
- 海洋放出する前にこの方法もぜひお試してください。

【具体的な方法】

汚染水に＋極－極の電極を入れ、通電ショート(短絡)させスパーク(火花)を発生させる。

- 愛（光）は天と地の架け橋。
- ＋極と－極、強い光により中和無害化が期待できる。
- スパーク(火花)、雷と同様、強い光により瞬時に汚染水を中和し無害化を促進する。
- プラズマにより、10,000度の高温で焼いても中和無害化は期待できないそうです。

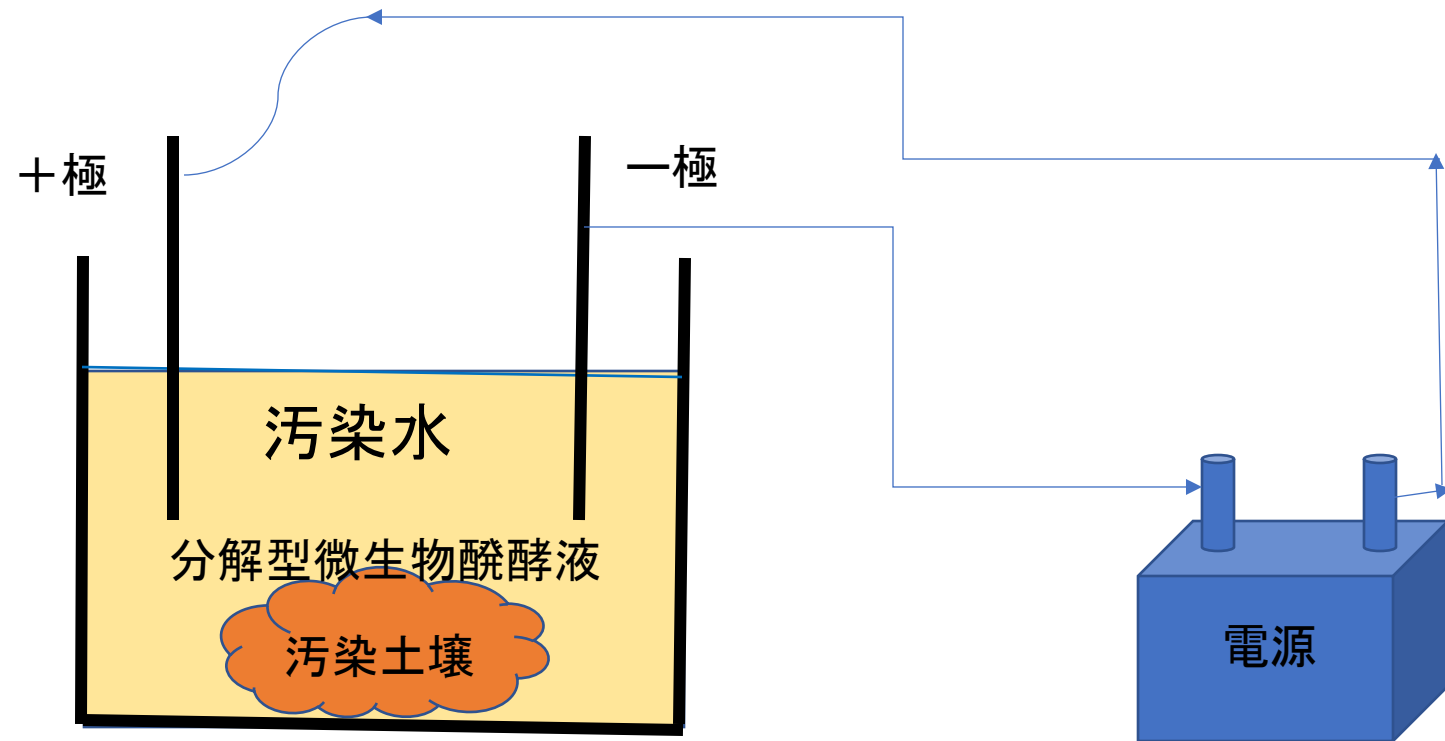
1例： 汚染水に＋極－極の電極を入れ、通電ショート（短絡）させスパーク（火花）を発生させる。



【効果】スパーク（火花）、雷と同様、瞬時に強い光により汚染水を中和し無害化を期待。

2例:

汚染水に+極一極の電極を入れ、通電ショート(短絡)させスパーク(火花)を発生させる。汚染土壌、分解型微生物醗酵液も混入する。



【効果】1例に加え、分解型微生物醗酵液により、汚染水・汚染土壌も中和し無害化を期待。

地球の自然を破壊したのは私たち大人の責任です。
子供たちに元の美しい地球を回復してあげましょう！



202104

地球家族 アースファミリーJAPAN